

【総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
経済と経営	NLA21_003	選択	2	2	前期	
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー			
白川 浩道	教員控室	hiromichi.shirakawa	授業終了後または Teams で質問受付			
授業の目的・概要	<p>経済や企業の活動は、我々の生活や地域社会、コミュニティに大きな影響を及ぼしている。本科目の目的は、経済及び企業経営の基本的な仕組みを学ぶことを通じ社会経済現象を「見る眼」を養い、日本全体や地域が抱える様々な社会経済課題を多角的に考察できる力を身につけることである。また、金融に関する知識を身に付けることによって、社会経済全般や企業経営動向の分析力、身近な経済的課題に対する判断力の向上を目指す。</p> <p>本科目では、ニュース等で話題になっている身近な現象に注目し、統計データ分析等を通じて、現代の日本経済及び日本企業の経営動向への理解を深める。企業経営の分野では、複数業界の個別企業事例を取り上げ、経営課題や経営戦略等を考察する。さらに、金融市場と資産運用の基礎を学ぶ。</p>					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習	<input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク		
学習上の助言	<ol style="list-style-type: none"> <li>モノの値段(物価)などの「数値」や企業データ(売上額など)を日頃から意識すること。</li> <li>メディアによく登場するような経済、経営に関する英単語に慣れ親しむこと。</li> <li>社会経済動向や企業経営に関するメディア記事、ニュースに関心を持つこと。</li> <li>授業で使用する参考資料(事前に送付)に目を通すこと。</li> </ol>					
教科書	使用しない。					
参考書	適宜紹介する。					
外部教材	特になし。					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針			
①	現代日本における主要な経済現象の基本的な事柄について数値を用いて説明できる。	HSU(2)、(5)、(6)				
②	現代日本企業が直面する主要な経営課題・戦略の基本的な事柄を説明できる。	HSU(2)、(5)、(6)				
③	個別企業の経営課題・戦略を調査分析、評価するための一連のプロセスを身につける。	HSU(2)、(5)、(6)				
④	金融市場、資産運用に関する基本的な事柄を説明できる。	HSU(2)、(5)、(6)				
⑤						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)			
1	イントロダクション(目的、概要、社会科学としての経済学、経営学等)	講義	事後に復習、疑問点などを整理。	2		
2	現代日本経済の課題(1):物価高の現状と背景を考察する	講義	事前に参考資料に目を通す。事後に復習、疑問点などを整理。	4		
3	現代日本経済の課題(2):人手不足と労働需給のミスマッチを考察する	講義	事前に参考資料に目を通す。事後に復習、疑問点などを整理。	4		
4	現代日本経済の課題(3):労働需給、労働生産性と給与の関係を考察する	講義	事前に参考資料に目を通す。事後に復習、疑問点などを整理。	4		
5	現代日本経済の課題(4):貯蓄・投資バランス、国際収支、財政収支の関係を学ぶ	講義	事前に参考資料に目を通す。事後に復習、疑問点などを整理。	4		
6	山梨県経済を考える:現状と課題を考察し、将来を展望する	講義、PBL、GW	事前に参考資料に目を通す。事後に復習、疑問点などを整理。	4		
7	企業経営概論(1):組織、ガバナンス、労務管理、リスクマネジメント、社会的責任等を学ぶ	小テスト、講義	事前に参考資料に目を通す。事後に復習、疑問点などを整理。	6		
8	企業経営概論(2):業績、財務諸表、IR(投資家対応)等を学ぶ	講義	事前に参考資料に目を通す。事後に復習、疑問点などを整理。	4		
9	現代日本企業の経営課題(1):人材確保、経営力強化とAI利用の関係を考察する	講義	事前に参考資料に目を通す。事後に復習、疑問点などを整理。	4		
10	現代日本企業の経営課題(2)サイバー攻撃が経営に与える影響と対策を考察する	講義	事前に参考資料に目を通す。事後に復習、疑問点などを整理。	4		
11	個別企業事例研究(1):外食チェーン業界、ディスカウント・ショップ業界の企業経営と戦略	講義、PBL、GW	事前に参考資料に目を通す。事後に復習、疑問点などを整理。	4		
12	個別企業事例研究(2):エンターテインメント業界、観光業界の企業経営と戦略	講義、PBL、GW	事前に参考資料に目を通す。事後に復習、疑問点などを整理。	4		
13	金融市場と資産運用(1):通貨(マネー)、金利、債券、外国為替、暗号資産等を学ぶ	講義	事前に参考資料に目を通す。事後に復習、疑問点などを整理。	4		
14	金融市場と資産運用(2):資産運用の基本概念、最適ポートフォリオ理論の基礎を学ぶ	講義	事前に参考資料に目を通す。事後に復習、疑問点などを整理。	4		
15	金融市場と資産運用(3):株式市場動向、株価決定論、株式投資の意義とリスクを学ぶ	講義	事前に参考資料に目を通す。事後に復習、疑問点などを整理。	4		
試	レポート試験(期末レポート)					

【総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポータル	その他	合計
		20	50	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	15	10	0	0	0	25
	思考・推論・創造する力	5	20	0	0	0	25
	協働性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	30	30
問題を発見・解決する力	0	20	0	0	0	20	
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点				フィードバックの方法	
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	期末レポート(第15回授業の終了後1週間以内に提出、図表を除いて1,500~2,500字)の内容を評価する。調査分析力、論理構成、独自性、具体性を重視する。複数提示する候補の中から各自が対象課題を選択することとする。具体的な課題の候補、書き方の留意点、AI利用の制限等については、学期半ばまでに提示する。			評価、コメントを付し、返却する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポータル	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	・リアクション・ペーパーの提出状況を評価する(総合評価割合は30%)。			リアクション・ペーパー:得点を付して返却する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他担当教員	なし。						
教員の実務経験	なし。						
実践的授業の内容	なし。						
その他	<ol style="list-style-type: none"> <li>参考資料(新聞・雑誌記事、関連文献、講義資料等)の送付、レポートの回収・返却、質問の受付等は Teams で行うので、通信環境を確保すること。</li> <li>授業の進捗度合い、履修者数によって各回の学習内容を幾分調整・変更する可能性がある。その場合は事前に通知する。</li> </ol>						